



「子どもと一緒に時間は意外と少ない。」
「子育ては妻に任せてきた。」
そんな実体験を持つ管理職の皆さんだからこそ、
子どもと過ごせる時間の尊さを理解し、
子育ての素晴らしさに共感できると思うのです。

最新のデータでは、約4割もの男性が「認められなかった」
「賛成してもらえない雰囲気ではなかった」といった理由で
育休取得を断念しています。
つまり、約4割の子どもたちが、父親の育児参加の機会を失い、
約4割の母親が自分のキャリアを断念しているかもしれません。

家族のために、モーレツに働いた皆さん。
家族のために、育休を取りたい子育て世代。
時代と共に愛情のかたちは変わっても、思いは同じです。
当事者だけの力では、男性の育休取得は進みません。
管理職の皆さんの後押しを、ぜひ、お願いします。

愛情のかたちは
変わり続ける。

モーレツ世代から、
男性の育休取得を後押しする世代へ。

お問い合わせ

長崎大学病院メディカル・
ワークライフバランスセンター

あじさいプロジェクト
NAGASAKI AJISAI PROJECT